

事業番号	070
------	-----

平成25年度 事務事業評価シート

事業の概要	事務事業名	ため池整備事業						担当部	市民産業部		
	会計区分	一般会計			事業類型	施設整備系		担当課	農政課		
	事業期間	平成12年度以前			～	平成30年度以降		担当係	事業係		
	総合計画 分野別計画	主目的	6 産業振興		28 農業		5 農業用施設の整備を進める				
		副目的									
	予算区分	款	6	項	1	目	4	大	4	中	3
	根拠法令・個別計画										
	目的 (対象をどの様な状態にするのか)	農業に必要な水を安定的に供給するため、ため池の適正な維持管理が行えるよう整備を行う。									
	内容 (手段)	<p>・平成12年の東海豪雨による甚大な被害発生に伴い、農業用ため池においても、新川総合治水計画に基づいた下流域への負担軽減のため洪水調整機能の構築が望まれており、経年的な老朽化施設の整備も兼ねて整備を実施する。</p> <p>◆24年度実施内容 屋土池および太良上池の浚渫工事を実施した。</p> <p>◆24年度直接経費の内訳 太良上池改修工事ほか 件(40,421千円) 土地改良施設維持管理適正化事業負担金(9,446千円)</p> <p>財源 その他 土地改良施設維持管理適正化事業交付金(20,700千円)</p> <p>◆25年度直接経費の内訳 ・ため池浚渫工事測量設計業務委託 烏坂池(4,000千円) ・農道等官民境界査委託 (786千円) ・県営土地改良施設耐震対策事業負担金ほか1件(22,398千円)</p>									
	受益者負担	無									

		単位	H22決算額	H23決算額	H24決算額	H25予算額		
コスト	費用	直接経費	千円	25,443	56,935	49,868	27,184	
		正職員	従事者数	人	0.30	0.30	0.30	0.30
			人件費	千円	1,599	1,599	1,599	1,599
		その他職員	従事者数	人	0.00	0.00	0.00	0.00
			人件費	千円	0	0	0	0
	費用合計	千円	27,042	58,534	51,467	28,783		
対前年比	%			216.4	87.9	55.9		
財源	一般財源	千円	17,142	22,534	30,767	28,783		
	国・県支出金	千円	0	0	0	0		
	その他財源	千円	9,900	36,000	20,700	0		

業 績	活動指標名		単位	H22	H23	H24	H25
	ため池の改修箇所数	箇所	目標	1	2	1	0
			実績	1	2	1	
			目標				
			実績				
			目標				
			実績				
	成果指標名		単位	H22	H23	H24	H25
	延べため池整備数	箇所	目標	27	29	32	0
			実績	27	31	32	
		目標					
		実績					

事業の自己評価	平成24年度の事業の達成状況	平成24年度に予定していた整備を、計画どおり進めることができた。		
	事業実施における課題	区長からの工事申請に基づいてため池の浚渫工事を行っているため、長期間、整備されていないため池がある。また、東日本大震災で破堤し、甚大な被害を出したため池があるため、小牧市においても堤体の強度確認は必要である。		
	事業を縮小・廃止したときの影響	老朽化により整備が必要なため池は多い。事業の縮小・廃止により、農業に不可欠な水の安定供給ができなくなり、農業振興に影響がある。また、洪水調整機能も十分に発揮できなくなる恐れがあり、防災上、市民の安全を確保するための対策が進まなくなる。		
	平成25年度の改善内容	25年度における事業の改善・見直し内容(新規追加事項、廃止・削減事項等)		
	平成26年度の事業の方向性	方向性の判定	維持	事業のボリュームを現状規模で維持すべきもの(対象や手段を見直す場合も含む)
		判定理由	農業生産基盤の推進のため、継続する必要がある。市民生活の安全確保の面からも耐震対策の整備を行う必要がある。	
26年度以降の改善案		ため池の浚渫については、計画的に順次進めて行く。ため池耐震対策については、耐震診断の結果、改修が必要と判断されたため池について、愛知県と調整を図り、継続的に整備を進める。		

二次評価	方向性の判定	判定理由
	維持	一次評価のとおり。